

# 令和5年度学校自己評価システムシート ( 県立蓮田松韻高等学校 )

目指す学校像	校是「松風水月」及び校訓「誠実・挑戦・感謝」の精神の下 自ら未来を切り拓く力を持ち、心豊かな生徒を育てる学校
--------	---

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

重点目標	1 基礎学力の確実な定着と個に応じた学習環境の提供 2 基本的生活習慣の確立と特別活動を通じた人間力の育成 3 社会的自立に向けたキャリア教育の推進 4 地域との連携強化による信頼される学校づくりの推進
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標					年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )		実 施 日	令 和 年 月 日
番 号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現状 (授業認識：昨年度生徒アンケート)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への集中度・満足度→83.5%</li> <li>・主体的に取り組む態度 →68.1%</li> </ul> </li> <li>●課題               <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒は授業に集中して取り組み、満足しているが、目標を持ち主体的に学習に取り組んでいる者の割合が低い</li> <li>・意欲的に取り組む生徒と全体の学力の引き上げのための学習支援</li> <li>・欠点保有者の増加</li> </ul> </li> </ul>	①基礎学力の向上と主体的な学習のための支援  ②PDCAによる授業の工夫・改善	①「松韻プラン」に基づき、学力の向上を推進する。また、生徒が主体的に学習できる組織的な支援を行うとともに意欲の高い生徒に対して、補習等を組織的に実施し、学力の向上を図る。  ②生徒の資質・能力や進路希望に応じた学習指導の研究・実践を行い、振り返りによる工夫を取り入れる。	①・生徒アンケートの「授業集中度」7%増(90%以上)及び「主体的に取り組む態度」12%増(80%以上) ・進学及び考査前補習等実施回数及び参加率の向上 ②・欠点保有者数5%減 ・教育相談員、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーと連携した、教育支援に関する研修会の実施回数				
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現状 (充実感：昨年度生徒アンケート)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事 →90.6%</li> <li>・部活動・生徒会 →86.5%</li> </ul> </li> <li>●課題               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事の再開に向けての展開方法</li> <li>・仲間意識の向上とチャレンジ精神の醸成</li> <li>・部活動加入率の向上と維持</li> </ul> </li> </ul>	①生徒主体の特別活動の運営と充実  ②部活動の活性化と継続	①「松韻プラン」に基づき、生徒の主体性育成のため、各行事の目的を明確化し共有する。また、活動完全再開に向けてブラッシュアップする。 ②部活動活動指針に基づいた部活動の運営を行い、生徒が継続して活動できる指導を推進する。	①・学校行事、部活動、生徒会活動の充実感5%増(95%以上)  ②・部活動加入率の5%増と3年次までの継続率の向上 ・大会、コンクール等への参加				
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現状 (生活習慣：昨年度生徒アンケート)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・マナーの良さ →57.7%</li> <li>・校則の親和性 →76.1%</li> </ul> </li> <li>●課題               <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS の使用方法を含む規範意識とマナー意識の欠如</li> <li>・自己実現・進路実現を見据えた、組織間での連携と体系的なキャリア教育の推進</li> </ul> </li> </ul>	①基本的生活習慣の確立と向上  ②進路決定率100%に向けた指導の充実	①「松韻プラン」に基づき、引き続きモラル育成を徹底しSNSトラブルを未然に防ぐ。交通安全指導及び人権教育を継続実施し、成年年齢引き下げに伴い必要な社会性を育成する。 ②年次、教科、進路指導部が密に連携を取り、キャリア教育を体系的に実施し、生徒個々の希望に応じた進路指導を推進する。	①・SNSトラブルゼロを目指す ・規範意識の向上10%増 ・交通事故件数30%減 ・人権教育の2回以上実施 ・主権者教育や消費者教育等の成年年齢引下げに対応できる授業の展開 ②・進路決定率 100%				
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現状               <ul style="list-style-type: none"> <li>・HP、SNSでの更新回数の増加</li> <li>・外部機関との連携と広報活動の工夫</li> </ul> </li> <li>●課題               <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒募集に関する情報発信と各種連携</li> <li>・地域活動への参加方法の工夫・改善</li> <li>・連携活動の新規開拓</li> <li>・学校から地域への働きかけの工夫</li> </ul> </li> </ul>	①地域行事への参加  ②情報発信と関係機関との連携	①地域行事へ生徒及び教職員の参加に加え、地域関係機関との連携・活動を継続して実施し、地域貢献を推進する。  ②「松韻プラン」に基づき、HPの更新を継続的に行い、同時に多くの方が手軽に見ることのできる公式アカウントを活用した情報発信と学校説明会や進学フェア等での対面での広報活動を積極的に実施する。	①・地域行事の運営協力の貢献回数と学校から働きかけた新規協力事業の開拓回数 ・図書館及び体育施設の開放等の実施回数 ②・HP閲覧数20%増 ・学校説明会と外部での広報活動の回数 ・志願者の増加				